

2025年度 ようこうだより

YOUKOU DAYORI

社会福祉法人館邑会広報誌



基幹相談支援センターと 地域づくり

館邑会福祉講演会

令和7年10月11日（土）

明和町中央公民館

福岡 寿 様にご登壇いただきました

職員 73 名 一般 18 名 計 91 名

ご参加ありがとうございました

CONTENTS

ごあいさつ・事業所紹介	2-5
役員・管理者紹介	6
寄付・寄贈	7
表彰	8
委員会・苦情報告	11
事業・決算報告	10-12

ごあいさつ

理事長 山本 樹

(令和5年6月26日就任)

当法人も、邑楽館林地区に45年前、障がい者施設を開所した当初は、さまざまなハンディキャップが一様に捉えられていました。現在は、一人ひとりの個性に合わせて設備と支援を提供していくことが求められています。そのためには、大規模な事業所ではなく、地域に根ざした小規模な事業所が望まれます。

当法人も、長期ビジョンとして複数の事業所を展開していくことを考えています。

最後に、今後とも地域の皆様ならびに行政の皆様の、より一層のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。



読売『愛のあかぎ募金』 車両贈呈式

令和7年11月3日

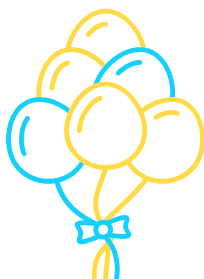
「ホンダフリード」を
ご寄贈頂きました

陽光園

勤続6年 生活支援員
杉本 恵

『陽光園の良いところは？』と聞かれ、すぐに思いついたのは『手厚く個別性のある支援を行っている』ということです。陽光園は老若男女問わず、個性豊かな多くの方々にご利用いただいています。その人それぞれの個性や特性を観察しながら、安心して過ごせる環境調整を行い、今後の可能性を広げていけるような課題とスケジュールを立案し、支援提供を行っています。時にはお楽しみ企画も取り入れながら、陽光園に集う人みんなの笑顔溢れる日々を過ごしています。

毎日色々な出来事が起こり忙しい日々ですが、当たり前のことを当たり前に積み上げ続けることができるのも陽光園の大きな強みであると思います。最後になりますが、ある利用者さんに「陽光園の良いところは？」とお聞きしたところ、少し間を置いた後に「手厚い支援」とニコッと笑いながら答えてくださいました。とても嬉しく、今後もそう思っただけのよう仕事に取り組んでいきたいと思いました。



ふらっぐが開所してから、早くも16年という年数が経ちましたが、私達は、今も変わらずに利用者さんと共に美味しいパンを焼いています。ふらっぐの理念・方針の中に「自分らしく働き、自分らしく生きる」という文言があります。単に利用者さんの働く場所を提供するだけではなく、就労支援の各作業支援において一人一人の利用者さんに向けた工夫や配慮などにも着目し、個人の満足度が上がるようにと日々考えています。パンの製造だけではなく、リサイクル作業や段ボールの組み立て作業を行っている場所もあり、他にも外部の企業との繋がりを図り、ダノン工場での清掃作業等も請負っています。地域の企業と繋がることで、多くの可能性を求めてやりがいを見出していると感じています。私たちは、そんな希望に向かって頑張っている利用者さん達の一番の応援団として、共に生きる仲間として、できる限りの支援を行っていききたいと強く思っています。



GOOD JOB

勤続15年 目標工賃達成指導員
荒井 好香

GOODJOBで大切にしていることは、「様々な経験」が出来ることです。人は、経験を通して成長していきます。楽しさや喜び、達成感、努力・・・時には失敗もあります。でも、このような実体験と経験が自分の自信に繋がり「自分で決める」ということにも繋がっていくと信じています。メンバーひとり一人の意見を大切に聞きながら一緒に考え「自分らしさ」を引き出し、充実していけるよう日々の支援を一緒に積み重ねています。このような考えからGOODJOBでは、作業種もたくさんあるのです。本人の可能性を一つでも多く見つけられるよう多種多様な作業と作業場を地域の中に作り出しています。今年度は2つの新しい作業種と場所を増やしました。仕事をすることは大変なことも多いですが、「楽しみながらできる」ことが一番です。毎日、メンバーの笑顔いっぱいの中で「働く」をみんなでつくり、楽しんでいきます。



ほっと

勤続3年 相談支援専門員
新井 真由美

館林邑楽相談支援センターほっとは、館林市の他、邑楽町、板倉町、千代田町、明和町の一市四町の方の一般相談と特定相談、障害児相談を行っています。
職員は2025年10月現在、相談支援専門員が15名、相談員が1名、事務員が1名です。
児童から高齢まで障害に関することや、日常生活の様々な相談を受け、地域で安心して生活していけるよう一人一人に合った情報提供や福祉サービスの調整等を行っています。
また、虐待防止センターや拠点として地域生活支援対応も行っています。
相談支援部会、児童発達支援部会、日中活動支援部会、精神支援部会、居住生活部会、自立支援協議会にも参加し、地域の課題に取り組んでいます。
来年度は、以前から圏域で検討していた基幹相談支援センターの整備が進められています。共同生活援助や就労継続支援等の福祉サービスも少しずつ充実し、相談支援事業所も増えてきており、今年度から協同体で会議を行ったりしています。これからもそれぞれの事業所の強みを生かしながら、地域で協力し皆でより良い相談支援を展開していければと思います。



第二陽光園

勤続7年 生活支援員
山根 朋絵

平成8年の開所以来、ご家族や地域の皆様の支えをいただきながら、第二陽光園は今年で29年を迎えました。「利用者の笑顔と健康のために、ぬくもりのある生活を提供する」という基本理念のもと、日々の支援に取り組んでいます。今年度は個人の活動に重点を置き、それぞれの特性や興味関心に合わせた自立課題や活動の提供を行っています。

洗濯物たたみや掃除などの生活に関わる活動のほか、音楽や絵画などの趣味を生かした課題にも取り組み、達成感や自己表現の機会に繋げています。また、利用者さん一人一人の気持ちを尊重し、その日の活動内容やおやつなど、出来る限り「自分で選ぶ」「自分で決める」機会を持てるよう心がけています。

年齢を重ねる方が増える中で、生活のリズムや体調に合わせた支援が必要になります。無理なく安心して過ごせるよう配慮し、今後も季節の行事や誕生会などを通して、利用者さんの穏やかでぬくもりのある毎日を支えていきます。



がじゅまる

勤続9年 生活支援員
木村 成善

がじゅまるも開所から2年が経ち、漸く軌道に乗り始めました。ガジュマルは幸せの木と呼ばれ、花言葉は、たくさんの幸せです。

がじゅまるは幸せ実現の為に、利用者さんのおうちです。現在、さんご棟7名、るり棟8名が元気に生活しています。

基本理念である「一人一人の福祉(幸せ)、当たり前の生活を支える」という観点から、利用さんの個性とプライバシーを尊重した支援を心掛けています。

最近、職員の間でよく交わされる会話があります。それは「〇〇さん変わったね」という言葉です。恐らく、今まで言えなかった事が、がじゅまるでの生活で本来の自分を表現出来る様になってきた表れだと理解しています。

利用者さんにとっての幸せの実現に向けての1歩を踏み出せた職員も実感しているところです。これからも利用者さんの要望に応え、それを実現する為に我々職員も励んで参りますので宜しくお願い致します。



てんしゃば

勤続25年 サービス管理責任者
前山 秀邦

共同生活援助事業所てんしゃばは、「利用者が安らげる暮らしを、利用者と共に創っていく」を理念に掲げ、現在、男性ホームそら4名、女性ホームあすかABC13名、計17名の利用者さんが生活されています。

利用者さんは、通勤や通院などに公共交通機関を利用したり、休日は地域のお店で買い物をしたり、移動支援を利用して買い物や外食を楽しんだり、友人と外出をしたりと、本人さん達の希望により沿った生活を送っています。

今年度より地域連携推進会議が義務化され、より地域の方々との関わりが重要になってきています。地域のお祭りや清掃、ゴミ当番などの行事にも参加し、地域の方々との交流を深めてきました。また訪問診療や訪問看護を利用することで、利用者さんが安心できる生活環境も整えています。利用者さん達が地域の中で自分らしく生活していく為に、支援者総勢29名、力を合わせ創意工夫を凝らしながらサポートしていきたいと思っています。



役員・管理者紹介

【理事】

任期：令和9年6月定時評議員会まで

- ・ 山本 樹 (理事長)
- ・ 太田 俊雄
- ・ 多田 征訓
- ・ 大竹 喜代子 (邑楽町社会福祉協議会会長)
- ・ 大谷 恵
- ・ 仁木 紀行 (ほっと管理者)

【監事】

任期：令和9年6月定時評議員会まで

- ・ 田沼 俊彦
- ・ 神長 泰弘

【評議員】

任期：令和11年6月定時評議員会まで

- ・ 前山 秀樹 (善長寺住職)
- ・ 三田 正信 (館林市社会福祉協議会会長)
- ・ 峯崎 俊雄 (板倉町社会福祉協議会会長)
- ・ 立木 留吉 (明和町社会福祉協議会会長)
- ・ 森田 榮 (千代田町社会福祉協議会会長)
- ・ 細田 順一 (大泉町社会福祉協議会会長)
- ・ 小林 茂
- ・ 内田 雅行 (邑楽町民生委員・児童委員協議会会長)

【評議員選任解任委員】

任期：令和9年6月定時評議員会まで

- ・ 塚越 健市
- ・ 飯塚 香
- ・ 田中 良治

【第三者委員】

- ・ 平野 一男 (令和8年3月31日まで)
- ・ 田口 範雄 (令和8年9月30日まで)
- ・ 大塚 勇 (令和9年3月31日まで)

事務局長

- ・ 田中良治 (令和3年4月就任)

【通所】

陽光園 (昭和56年4月)

生活介護 定員55名

- ・ 中村 建児 (令和6年4月就任)
- ・ 新井 昭代 (令和6年4月就任)
- ・ 木村 夏子 (令和6年4月就任)



ふらっぐ (平成21年10月)

就労継続支援B型 定員20名

- ・ 鰐石 英男 (令和3年4月就任)

GOOD JOB (平成30年4月)

就労継続支援B型 定員20名

- ・ 中村 建児 (平成30年4月就任)
- ・ 鰐石 英男 (令和6年4月就任)

【相談】

ほっと (平成19年1月)

一般相談、特定相談、障害児相談

- ・ 仁木 紀行 (令和3年4月就任)
- ・ 辻 光弘 (令和6年12月就任)
- ・ 中田 陽子 (令和7年4月就任)

【入所】

第二陽光園 (平成8年4月)

施設入所支援・生活介護 定員35名

短期入所 定員4名 日中一時支援

- ・ 程原 一行 (令和3年4月就任)

てんしゃば (平成17年2月)

共同生活援助包括型 定員19名

- ・ 遠藤 真由実 (令和7年4月就任)
- ・ 中村 建児 (令和7年4月就任)

がじゅまる (令和5年10月)

共同生活援助日中型 定員16名

短期入所 定員1名

- ・ 程原 一行 (令和5年10月就任)



寄 付 ・ 寄 贈

【寄 付】

期間：令和 6 年11月～令和 7 年11月

<団 体>

- 館邑会後援会 様 (令和6年12月19日)
- 愛の募金 様 (令和6年12月19日)
- 館林市手をつなぐ育成会 様 (令和 7 年 6 月30日)

<個 人>

- 竹脇 幸介 様 (令和 7 年 8 月 6 日)



【寄 贈】

- 読売愛のあかぎ基金実行委員会 様 (令和 7 年11月3日)



ご厚情により感謝申し上げます。お名前のみの記載となります。

表 彰

・群馬県知的障害者福祉協会永年勤続表彰（10年）

所属・職名は令和6年12月推薦時

陽光園

渡邊	阿友美	事務員
下山	佑介	生活支援員

第二陽光園

三瀬	秀明	事務員
----	----	-----

GOOD JOB

黒田	真澄	生活支援員
塩浦	瑞紀	職業指導員



・群馬県手をつなぐ育成会会長表彰（8年）

所属・職名は令和7年3月推薦時

第二陽光園

倉澤	将人	生活支援員
野村	俊行	生活支援員
陣川	悠布	生活支援員

ふらっぐ

藺部	幸恵	生活支援員
佐藤	望	職業指導員

ほっと

中田	陽子	副管理者
----	----	------

てんしゃば

田部井	慎	夜間支援員
亀山	しづ子	世話人
岡田	ノブ子	世話人



がじゅまる

木村	成善	生活支援員
----	----	-------

委員会・苦情報告

・人権倫理委員会 遠藤真由実

館邑会では、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を合わせた『人権倫理委員会』として、利用者の方々の人権を尊重した支援の為に委員会を組織しています。年3回を基本として開催される委員会では『切迫性・非代替性・一時性』の三要件に基づき、身体拘束適正化の協議を、対象者全員に対しておこなっています。各事業所での研修の実施状況の確認や情報共有の他、今年度は新人職員が人権倫理委員会を傍聴し、学びを深める取り組みをおこないました。

・苦情解決委員会 木村夏子

本年度も、利用者やご家族の声に丁寧に耳を傾け、安心してサービスを利用できる環境づくりに努めました。法人内7事業所の苦情対応体制を確認し、職員が日常的に要望や相談へ迅速に対応できるよう支援しました。10月と3月に第三者委員会を開催し、対応事例の検討や再発防止に向けた意見交換を行いました。大きな苦情はなく、誠実な対応が定着していることを確認しました。今後も信頼される事業運営を目指して取り組んでまいります。

・研修委員会 大槻香織

令和7年度の研修委員会では、入職1～3年目の職員を対象にアンケートを実施し、「他事業所の業務を知りたい」「同年代との関わりを持ちたい」との声を受け、11月・1月・2月に館邑会事業所の見学やサロン形式の交流研修を開催します。また、研修委員が法人の行動規範（倫理綱領）について、事業所レクチャーを行います。これらの取り組みを通じて、職員一人ひとりが「自分たちの法人」をより良く知り、仲間とのつながりを深め、誇りを持って働ける環境づくりを進めてまいります。

・苦情処理件数報告

期間：令和6年10月～令和7年9月

事業所名	件数	事業所名	件数
陽光園	2	第二陽光園	0
ふらっぐ	0	がじゅまる	0
GOOD JOB	0	てんしゃば	0
ほっと	0		

令和6年度事業報告

1. 役員会等の状況(書)は書面議決による決済

4月20日 第1回理事会	
	陽光園新園舎建設の凍結
6月6日 第2回理事会	
	令和5年度事業報告・決算報告 陽光園運営規程変更 苦情解決に関する規程 評議員会開催
6月24日 定時評議員会	
	令和5年度事業報告・決算報告
9月17日 第3回理事会	
	運営規程(第二陽光園・てんしゃば・ほっと) 館林駅西側の開発整備の連携
11月18日 第4回理事会	
	館林市公園利活用の応募 経理規程・給与規程の変更
12月25日 第5回理事会	
	管理者の選任 職員の傷病休暇延長 経理規程・就業規則・給与規程の変更
1月30日 第6回理事会	
	補正予算 がじゅまる運営規程の変更 評議員会開催

2月13日 第2回評議員会	
	補正予算
3月11日 第7回理事会	
	2次補正予算 管理者人事 給与規程の変更 7年度事業計画・当初予算 館林市都市計画事業借地権の契約 みらいの福祉助成申請 理事長専決規程 職員紹介制度規程 旅費規程・育児休業の規程変更 評議員会開催
3月27日 第3回評議員会	
	2次補正予算 令和7年度事業計画・当初予算 旅費規程の変更



2. その他会議やイベント

開催日	事業名	内容 決算・予算、事業報告
8月5日	館邑会後援会	法人に寄せられた苦情・事故報告
10月3日	第三者委員会(1)	
	秋まつり	～中止～
3月4日	第三者委員会(2)	法人に寄せられた苦情・事故報告

令和6年度決算報告

資金収支計算書 (自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	57,898,000	58,409,810	△511,810
		障害福祉サービス等事業収入	816,657,000	792,772,766	23,884,234
		その他の事業収入	2,173,000	2,169,800	3,200
		経常経費寄附金収入	5,913,000	5,852,320	60,680
		受取利息配当金収入	56,000	209,473	△153,473
		その他の収入	9,085,000	9,350,425	△265,425
		事業活動収入計(1)	891,782,000	868,764,594	23,017,406
	支出	人件費支出	629,686,000	586,021,650	43,664,350
		事業費支出	94,419,000	82,895,675	11,523,325
		事務費支出	85,554,000	58,563,917	26,990,083
		就労支援事業支出	57,898,000	54,488,983	3,409,017
		支払利息支出	260,000	229,096	30,904
		その他の支出	4,300,000	4,026,500	273,500
		事業活動支出計(2)	872,117,000	786,225,821	85,891,179
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		19,665,000	82,538,773	△62,873,773
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	12,000	11,090	910
		施設整備等収入計(4)	12,000	11,090	910
	支出	設備資金借入金元金償還支出	3,504,000	3,504,000	0
		固定資産取得支出	6,201,000	5,154,212	1,046,788
		施設整備等支出計(5)	9,705,000	8,658,212	1,046,788
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△9,693,000	△8,647,122	△1,045,878	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,307,000	738,658	568,342
		拠点区分間長期貸付金回収収入	5,980,000	0	5,980,000
		拠点区分間繰入金収入	3,500,000	5,363,237	△1,863,237
		その他の活動による収入計(7)	10,787,000	6,101,895	4,685,105
	支出	積立資産支出	1,279,000	1,215,085	63,915
		拠点区分間長期借入金返済支出	5,980,000	0	5,980,000
		拠点区分間繰入金支出	3,500,000	5,363,237	△1,863,237
		その他の活動支出計(8)	10,759,000	6,578,322	4,180,678
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		28,000	△476,427	504,427
	予備費支出(10)		10,000,000	—	10,000,000
0					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	73,415,224	△73,415,224	
前期末支払資金残高(12)		446,715,000	431,606,100	15,108,900	
当期末支払資金残高(11)+(12)		446,715,000	505,021,324	△58,306,324	

事業活動計算書 (自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	58,409,810	54,243,485	4,166,325
		障害福祉サービス等事業収益	792,772,766	721,738,396	71,034,370
		その他の事業収益	2,169,800	6,541,000	△4,371,200
		経常経費寄附金収益	5,852,320	737,840	5,114,480
	サービス活動収益計(1)		859,204,696	783,260,721	75,943,975
	費用	人件費	586,472,513	567,771,334	18,701,179
		事業費	82,895,675	84,986,228	△2,090,553
		事務費	58,589,481	52,409,584	6,179,897
		就労支援事業費用	54,435,558	51,135,990	3,299,568
		減価償却費	25,199,180	25,734,423	△535,243
国庫補助金等特別積立金取崩額		△8,763,625	△8,763,626	1	
サービス活動費用計(2)		798,828,782	773,273,933	25,554,849	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		60,375,914	9,986,788	50,389,126	
サービス活動増減の部	収益	受取利息配当金収益	209,473	17,837	191,636
		その他のサービス活動外収益	9,350,425	6,343,878	3,006,547
		サービス活動外収益計(4)	9,559,898	6,361,715	3,198,183
	費用	支払利息	229,096	259,893	△30,797
		その他のサービス活動外費用	4,026,500	3,907,630	118,870
		サービス活動外費用計(5)	4,255,596	4,167,523	88,073
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)		5,304,302	2,194,192	3,110,110	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		65,680,216	12,180,980	53,499,236	
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	5,363,237	57,000,000	△51,636,763
		拠点区分間固定資産移管収益	73,781	0	73,781
		その他の特別収益	30,000	0	30,000
		特別収益計(8)	5,467,018	57,000,000	△51,532,982
	費用	固定資産売却損・処分損	1	400,782	△400,781
		拠点区分間繰入金費用	5,363,237	57,000,000	△51,636,763
		拠点区分間固定資産移管費用	73,781	0	73,781
		特別費用計(9)	5,437,019	57,400,782	△51,963,763
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		29,999	△400,782	430,781
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		65,710,215	11,780,198	53,930,017
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	500,003,985	501,223,067	△1,219,082	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	565,714,200	513,003,265	52,710,935	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	3,000,720	△3,000,720	
	その他の積立金積立額(16)	0	16,000,000	△16,000,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	565,714,200	500,003,985	65,710,215	

令和6年度 決算報告

貸借対照表
令和7年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	542,877,480	475,781,332	67,096,148	流動負債	40,922,990	47,295,491	△6,372,501
現金	700,000	600,000	100,000	事業未払金	25,692,639	21,697,664	3,994,975
預金	410,006,766	352,919,265	57,087,501	1年以内返済予定設備資金借入金	3,504,000	3,504,000	0
事業未収金	127,149,168	107,919,346	19,229,822	預り金	160,000	1,000,000	△840,000
原材料	437,166	383,741	53,425	職員預り金	7,546,351	11,093,827	△3,547,476
立替金	0	1,165,000	△1,165,000	拠点区分間借入金	4,020,000	10,000,000	△5,980,000
前払金	564,380	2,793,980	△2,229,600	固定負債	119,748,139	122,945,275	△3,197,136
拠点区分間貸付金	4,020,000	10,000,000	△5,980,000	設備資金借入金	23,612,000	27,116,000	△3,504,000
固定資産	616,476,855	636,196,050	△19,719,195	拠点区分間長期借入金	85,732,783	85,762,783	△30,000
基本財産	342,235,486	357,843,187	△15,607,701	退職給付引当金	10,403,356	10,066,492	336,864
土地	120,028,275	120,028,275	0	負債の部合計	160,671,129	170,240,766	△9,569,637
建物	219,143,161	232,784,530	△13,641,369	純 資 産 の 部			
建物付属設備	3,064,050	5,030,382	△1,966,332	基本金	168,572,625	168,572,625	0
その他の固定資産	274,241,369	278,352,863	△4,111,494	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物	22,142,656	23,088,919	△946,263	国庫補助金等特別積立金	140,720,381	149,484,006	△8,763,625
建物付属設備	1,615,973	2,603,930	△987,957	国庫補助金等特別積立金	140,720,381	149,484,006	△8,763,625
構築物	467,499	621,821	△154,322	その他の積立金	123,676,000	123,676,000	0
機械及び装置	4,859,422	5,209,882	△350,460	移行時特別積立金	27,086,000	27,086,000	0
車両運搬具	9,584,468	12,729,459	△3,144,991	施設整備積立金	70,500,000	70,500,000	0
器具及び備品	11,520,863	10,404,271	1,116,592	人件費積立金	21,500,000	21,500,000	0
建設仮勘定	2,904,000	2,904,000	0	修繕費積立金	4,590,000	4,590,000	0
リサイクル預託金	375,020	376,980	△1,960	次期繰越活動増減差額	565,714,200	500,003,985	65,710,215
権利	592,970	597,209	△4,239	次期繰越活動増減差額	565,714,200	500,003,985	65,710,215
ソフトウェア	66,359	341,117	△274,758	(うち当期活動増減差額)	65,710,215	11,780,198	53,930,017
拠点区分間長期貸付金	85,732,783	85,732,783	0				
退職給付引当資産	10,403,356	10,066,492	336,864				
差入保証金	300,000	0	300,000				
移行時特別積立	27,086,000	27,086,000	0				
施設整備積立資産	70,500,000	70,500,000	0				
人件費積立資産	21,500,000	21,500,000	0				
修繕費積立資産	4,590,000	4,590,000	0				
資産の部合計	1,159,354,335	1,111,977,382	47,376,953	負債及び純資産の部合計	1,159,354,335	1,111,977,382	47,376,953

“ お知らせ ”



インスタフォローお願いします！

- ・当法人の各行事やイベント、研修会など利用者様や職員の日常を投稿しています♪
- ・誌面には掲載できなかった内容もたくさん紹介しています！

基本理念

私たちは、地域の方たちとワンチームになり
誰もが輝ける社会をつくります。



One team
for the future
on the community

〒370-0614 群馬県邑楽郡邑楽町赤堀836-1

TEL.0276-89-0600 FAX.0276-88-6930 <https://kanoukai.jp/>

発行者：社会福祉法人館邑会



編集後記

11月に入り一気に寒くなりましたね。
体調には十分に気をつけてください。
本年度からようこうだよりのデザインを一新しました。
原稿を初めて投稿してくれた職員も多いです。
ここまで読んでくださり、ありがとうございました。

